

徳島県立那賀高等学校

せせらぎ新聞

第65号

発行/那賀地域中高一貫教育
研究委員会事務局
(徳島県立那賀高等学校内)
電話: 0884-62-1151
FAX: 0884-62-2590
那賀高校ホームページURL
http://naka-hs.tokushima-ed.jp/

第67回卒業証書授与式

3月1日(金)、第67回卒業証書授与式が、多くのご来賓・保護者のご臨席のもと、厳かな雰囲気の中で挙行されました。今年度の卒業生は、71名。ガーベラのコーサージュを胸に飾り、晴れやかな表情で入場しました。今年の卒業式において特筆すべきは、3年生が自ら手で漉いた拝宮和紙の卒業証書、森林クリエイト科の生徒が、授業を通して学んだ拝宮和紙の製法を普通科の生徒に伝授し、3年生全員で製作に取り組みました。冬の寒い日に、冷たい水と格闘しながら紙漉きをした3年生は、一揃いごとに自らの高校生活を振り返っているようでした。普通科52名の代表の山川紗希さんと、森林クリエイト科19名の代表の岡本七海さんは、引き締まった表情で登壇し、校長先生から思いの詰まった卒業証書を授与されました。学校長は式辞の中で、自然を愛する気持ちを持つこと、多様な人々と協働すること、地域に貢献する人材になることの大切さを説かれました。在校生代表として送辞を述べたのは、生徒会副会長の中村優花さん。那賀

高祭など、卒業生とともに過ごした時間を振り返り、時折声を震わせながら訥々と別れのことを述べました。那賀高生が学年の垣根を越えて、親しく交流している姿が目に見えかぶようでした。さらに在校生として那賀高校の伝統を受け継いでいくという決意も語ってくれました。そして、卒業生答辞の大役を任されたのは河野佑佳さん。3年間の高校生活を振り返り、先輩や後輩、先生方や保護者、学

校や地域などとの関わりを通して成長できた喜びと感謝の気持ちを述べました。凜とした語り口の中にも、時折声を詰まらせる場面があり、生徒のみならず、来賓や保護者の方々もまた涙を誘われました。さらに、ふるさと那賀町で新たな一歩を踏み出す自らを通して、後輩や卒業する仲間にも力強いエールを送ってくれました。

そして、那賀高生全員での校歌斉唱。在校生の大きな声に後押しされ、卒業生は思いを込め一杯歌い起りました。会場の一体感はピークに達し、その余韻が残る中での卒業生退場。正副担任に向かって大きな声で挨拶し、生徒会の皆さんから贈られた花束を手に、鳴り止まぬ拍手の中、式場を後にしました。

その後、各教室で、保護者の方々にも参加していただき、正副担任と最後のホームルームを行いました。教室には、先生方からのメッセージや写真が飾られ、3年間の思い出に浸ることができました。

さらに、生徒たちからは正副担任へ色紙や花束等のプレゼントのサプライズが用意されており、かけがえのない時間となりました。

第67回卒業証書授与式は、卒業生の旅立ちを祝福する気持ちに溢れた、心に残る感動的な卒業式となりました。生徒たちは、この那賀高校で多くのことを学び、心身ともに成長し、胸を張って卒業していきました。この日を迎えられるのは、本人の努力はもちろんのこと、家族や友人をはじめ、多くの方々の支えや協力のおかげです。心から感謝を申し上げます。そして、お忙しい中、ご臨席いただいたご来賓の皆さま、本当にありがとうございました。平成最後となった卒業生の皆さんは、卒業の喜びを胸に、力強く未来を切り拓いていってください。皆さんの将来に幸多からんことを、お祈りいたします。

3月1日(金)、第67回卒業証書授与式が、多くのご来賓・保護者のご臨席のもと、厳かな雰囲気の中で挙行されました。今年度の卒業生は、71名。ガーベラのコーサージュを胸に飾り、晴れやかな表情で入場しました。今年の卒業式において特筆すべきは、3年生が自ら手で漉いた拝宮和紙の卒業証書、森林クリエイト科の生徒が、授業を通して学んだ拝宮和紙の製法を普通科の生徒に伝授し、3年生全員で製作に取り組みました。冬の寒い日に、冷たい水と格闘しながら紙漉きをした3年生は、一揃いごとに自らの高校生活を振り返っているようでした。普通科52名の代表の山川紗希さんと、森林クリエイト科19名の代表の岡本七海さんは、引き締まった表情で登壇し、校長先生から思いの詰まった卒業証書を授与されました。学校長は式辞の中で、自然を愛する気持ちを持つこと、多様な人々と協働すること、地域に貢献する人材になることの大切さを説かれました。在校生代表として送辞を述べたのは、生徒会副会長の中村優花さん。那賀

第67回卒業証書授与式



予餞会

1月31日(木)、本校体育館にて予餞会が行われました。今年も映画鑑賞を行い、『ボスベイビー』を鑑賞しました。さらに、教員が中心となって作成した「思い出ビデオ」も上映され、楽しい時間を過ごしました。特に「思い出ビデオ」では、旧職員からのメッセージや、3年間の振り返る数々の写真などが多数披露され、笑いあり涙ありの素敵な時間を過ごすことができ、3年生にとって最後の良い思い出となりました。



卒業生の主な進路決定先&メッセージ

進学

徳島大学
3年間、積み上げてきたものを発揮するのは、受験だと思います。センター試験では、同士がたくさんあり、友達もできました。体調管理をしっかり！

徳島大学
私の強みは、カヌーです。カヌーのおかげで、多くの経験を積み上げることができ、多くの方々の支えで、大学進学を決めることができました。大学でも多くの経験を積みたいです。後輩の皆さんも、自分の強みとなるものを見つけて、高校生活の中でいろいろなおことに挑戦してください。

徳島医療福祉専門学校
高校での3年間は、思っているよりもずっと短いです。だから、できるだけ早い段階で目標を定め、その目標を達成できるように努力して、有意義な高校生活を送ってください。

専門学校 健祥会学園
3年間は、あっという間に過ぎてしまいましたが、嫌だと思つことはたくさんありますが、無理をせず、自分のペースで頑張ってください。

県立農業大学校
森林クリエイト科に入学したことで、農業について興味を持ち、将来の進路につながりました。何がきっかけで進路が決まるかわかりません。那賀高校には、チャンスがたくさんあると思うので、皆さんも夢に挑戦してください。

徳島県中央テクノスクール
良いことをすると、良いことが自分に返ってきます。お母さまのために全力でサービスをを行い、相手も自分も幸せになるような美容師になることが僕の夢です。皆さんも夢を持ち、何事にも全力で取り組んでください。来年、再来年に、皆さんに良い知らせが訪れるように祈っています。

就職

大塚製薬株式会社
これまで支えてくださった方々のおかげで、今の自分があります。周りに支えてくれてる人がいることに感謝して過ごしてください。

社会福祉法人東紅会
特別養護老人ホームヒワサ荘
3年間の高校生活は、本当にあっという間で、後輩の皆さんは、絶対に悔いが残らないように、勉強を頑張りながらも、高校生活を一杯楽しんでください。先生方、今まで大変お世話になりました。

株式会社レオユニティ
3年生になると、大きな分岐点として進路選択があります。私は就職を希望し、面接練習を頑張りました。最初は、自分の強みや本当にやりたいこともはつきりせず悩みましたが、深く自分のことを考え、言葉にするので、たくさんの発見があり、目標がはつきりしてきました。在校生の皆さんも、この那賀高校で過ごす時間の中で、忘れ難い思い出をつくり、たくさんの経験を積んで、どうにか豊かな人生を歩んでください。

木頭森林組合
高校3年間は、長いようでも短いので時間を無駄にせず、森林クリエイト科の学習を一杯頑張ってください。私も、那賀町で「山師」を目指し、頑張ります。

徳島県庁(林業)
高校時代は、あっという間に過ぎていきます。何事にも前向きに、いろいろなことに挑戦してください。私も、県職員として地域のために頑張りたいです。

株式会社アルボックス
森林クリエイト科1期生としての様々な学習活動を通して、自分の目標を見つけたことができた。3年間で学んできたことを、社会人として活かしていきたいです。

「まなぼうさい活動賞」&ぼうさい甲子園「奨励賞」受賞

本年度、本校防災クラブの活動が評価され、「平成30年度 徳島県まなぼうさい活動賞」と、「平成30年度1.17防災未来賞ぼうさい甲子園奨励賞」を受賞しました。

1月7日(月)にあわぎんホールで行われた「まなぼうさい活動表彰式」では、飯泉知事より表彰状が授与されました。1月13日、兵庫県公館で行われた「ぼうさい甲子園表彰式・発表会」では、「防災教育」に関する先進的で個性的な活動の紹介があり、大変刺激を受けました。

2月3日(日)には、フードコーディネーター 田中美和先生をお招きし、今年度4回目となる防災食作り講習会を実施しました。メニューは、ワカメとにんじんの炊き込みご飯・ロール白菜・かぶのゆずかに塩麴あなかけ・ブロッコリーとゆでたまごのサラダ・菜の花おかか柿の種和え・かんたん芋餅の6品でした。地域婦人会の方にも参加していただき、楽しく調理することができました。

本校の防災に関する活動は、地域の方々にご協力いただき年々充実しています。本当にありがとうございました。



★平成30年度防災に関する取組★

4月27日	地域婦人会との防災食作り講習会①	11月13日	地域防災力充実強化大会in徳島2018での発表
7月12日	防災訓練、簡易担架づくり 防災講演会(講師 徳島大学大学院 教授 中野 晋先生)	11月~	「なかなか美味しい防災食レシピ集」の作成と配付
7月30日	防災プログラムへの参加(那賀町地域交流センター)	12月2日	南部地域の高校と合同の「人と防災未来センター」見学
8月10日	驚敷中学生との防災食作り講習会②及び「避難確認シール」の配付	12月16日	南部圏域総合防災訓練(防災まつり)への参加
8月28日	四国放送「ゴジカル!」出演	12月23日	那賀高校防災新聞の発行
夏休み	防災リュックの作成	1月7日	平成30年度徳島県まなぼうさい活動表彰式
9月8日	地域婦人会との防災食作り講習会③ (講師 フードコーディネーター 田中美和先生)	1月13日	平成30年度1.17防災未来賞ぼうさい甲子園表彰式・発表会
9月29日 ~10月1日	那賀高祭文化祭での防災に関する展示と体育祭での防災リレー	1月31日	学校安全総合支援事業成果報告会への発表
10月27日 ~28日	防災那賀よしキャンプⅣ、那賀町消防署による止血法・包帯法講習会、国土交通省那賀川河川事務所による出前講座、DIG演習(講師 徳島大学大学院 教授 中野 晋先生)	2月3日	地域婦人会との防災食作り講習会④

連携中学校とのテレビ会議

1月29日(火)、那賀高校を知ってもらうために、連携中学校とのテレビ会議が開催されました。本校からは生徒会役員を中心に各中学校の出身者が参加し、和やかな雰囲気の中で前半は、各校の学校紹介でした。本校からは、普通科のコースのことや、その後の進路、森林クリエイト科の実習やドローンの説明をしました。

後半は質疑応答で、中学生から高校生活全般にわたる質問があり、とても興味を持って聞いてくれたことが伝わってきました。また、終了後の感想には「那賀高校について改めて考えることができた。」などがありました。他者に自分の考えを説明することは大変難しいことです。しかし、工夫を凝らし、深く考えることで、最後になりましたが、ご指導・ご協力いただいた各先生方に感謝を申し上げます。本当にありがとうございました。



「弦楽四重奏」鑑賞会 1学年

2月8日(金)の5・6限目に、1学年を対象に「弦楽四重奏」の鑑賞会を実施しました。4名の奏者で構成される「フィアクレカルテット」のヴァイオリン・ヴィオラ・チェロによる演奏でした。モーツァルトやストラヴィンスキーのクラシック曲をはじめ、生徒たちに馴染みの深い「となりのトトロ」や「美女と野獣」、徳島県出身の米津玄師さんの「Lemon」、情熱大陸のテーマ曲などを弾いてくださいました。また、本校の校歌の演奏に合わせて、全員が大きな声で合唱するなど、本校生のために、心に残るサプライズをプレゼントしてくださいました。生徒たちは、間近で生演奏を聴くことができ、大変有意義な時間となりました。



第12回 那賀よしもちつき大会

12月15日(土)に、恒例の「那賀よしもちつき大会」が開催されました。保護者や生徒ボランティア・町内ボランティアの方々、約156名が参加してください、90kgのもち米を臼でついたり、丸める体験をしました。当日は、冷え込みが厳しい中でしたが、天気も良く、多くの方々に来校していただきました。もちつき以外にも、エシカルクラブによる「服活」や茶道部による茶席のおもてなしの他、美術部や書道部による作品展示や防災クラブによるパネル展示も行われ、活気に満ちた1日となりました。

このような地域との交流を通して、地域とともに那賀よしの輪(仲良しの輪)が広がることを願っています。ご来場いただいた皆さま、町内ボランティアの皆さま、本当にありがとうございました。



若鮎寮 送別会 & 卒寮式

1月30日(水)、若鮎寮にて、卒業を控えた男子13名の送別会が行われました。共同生活の中で築いてきた若鮎寮生の「絆」がさらに深まり、心に残る送別会となりました。また、2月28日(水)には、卒寮式が行われました。新寮生長から卒業生へ、3年生からは調理員さんや舎監の先生への感謝の言葉が贈られ、最後には、在校生から記念品が贈呈されました。今後は、新3年生が中心となり、受け継いでいってくださるものと思います。



◆あひる駅伝大会
2月3日(日)、第13回あひる駅伝大会が、さくら公園(工業団地)付近で開催されました。企業チームや近隣の小学生が参加する中、本校からは、硬式野球部・カヌー部・バドミントン部が出場しました。一般部の成績は、硬式野球部Aチームが昨年に続き優勝しました。全5区間中、1区は蔭野勝梧君(12HR)、2区は橋本祐二君(23HR)、3区は宮田剣士郎君(22HR)、5区は野村幸希君(22HR)が区間賞を受賞しました。

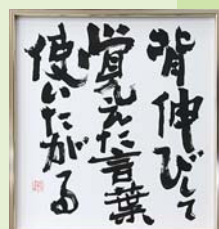


ほっとニュース



卒業証書作成
本校では、平成28年度より森林クリエイト科の生徒が、那賀町那賀地区に伝承されている「拝宮和紙」の製作・保存活動を行っています。また、本年度「NIPPON探究スクール事業」認定校として、拝宮和紙について学習を実施しています。今回、地域の特産品である拝宮和紙による卒業証書を3年生全員で漉き、世界で1枚だけのオリジナル証書を作成しました。来年度以降もこの取組を継続していきたいと考えています。

◆青春川柳
*文学部長賞 背伸びして 覚えた言葉 使いたがる (32HR 豊崎真菜)
*佳作 最近の写真は真実写さない (12HR 岡本玲奈) 青春は一人でできない事だらけ (13HR 井實 将) 遊ぶため宿題やるが終わらない (22HR 末崎 光) 伝えた一言で終わってしまった (22HR 野口峻 汰) 僕の青春(23HR 野口峻 汰) 手作りのお守り入れて面接へ (31HR 河野佑 佳) 青春は春にしよう熱すぎる (32HR 斎藤華 蓮)



エシカルクラブ 「服活」
2月17日(日)にN.A.K.A.G.A.W.A.F.A.M.I.、24日(日)に活竹祭へ参加させていただき、たくさんの方に足を運んでいただき、今回も多くの服を「復活」させることができました。小松島市のショッピングモールのご協力を得て、回収ボックスを設置させていただいており、今も多くの服が集まっています。余剰の衣服の一部は、「古着deワクチン」に寄付し、難民支援活動に繋げることができました。次回は、3月24日(日)に阿南市文化会館で行われる阿南de春マールシェーに参加させていただきます。是非お越しください。

